



令和3年度学校だより

甲府市立南西中学校

銀 杏 (いちょう)

第 7 号

学校教育目標 「たくましい心と体をもち 学び合える生徒の育成」

文責：校長 石 井 敬

各部とも大健闘！～市総体終わる～

6月18日・19日の2日間にわたって甲府市総合体育大会が開催され、各会場では熱戦が繰り広げられました。と、いかにも自分の目で見てきたような書きぶりですが、コロナ禍にあっての大会運営だったため会場間の移動は許されておらず、残念ながら子どもたちの活躍をこの目で見ることはできませんでした。それでも、各部顧問の先生方が逐一、戦況や結果を報告してくださったので、その様子を目に浮かべながら、私は、会場校である南西中で女バスの応援に夢中になっていました。

結果は次のとおりとなりました。悔しい思いをした者もいれば、県大会に向けて次の目標ができた者もあります。3年生からバトンを受け、新たなチームづくりに挑んでいく1・2年生もいます。部活動に一区切りをつけ、本格的に自分の進路と向き合っていく3年生もいます。市総体は“終わり”ではなく、ここからまた“新たな始まり”であることを心に留め、子どもたちには次への一步を踏み出してほしいと願っています。



- サッカー 駿台中に勝利し、北東中に破れて、1勝1敗で2位トーナメントに進出。
そこでは富竹中、学院中を破り優勝。全体では5位となり県大会出場へ。
- ソフトテニス男子 北西中に勝利し、5位入賞。県大会出場へ。
- ソフトテニス女子 東中に敗れ、1回戦敗退。
- バスケ男子 上条中に敗れ、1回戦敗退。
- バスケ女子 2回戦・北西中、準決勝・富竹中、決勝・城南中にいずれも勝利し、優勝。
県大会出場へ。
- バレーボール 西中に敗れ、1回戦敗退。
- バドミントン 東中、笛南中、学院中、城南中と対戦し、1勝3敗で予選敗退。
県総体にはオープン参加。
- 陸 上 共通男子5位 2年男子総合3位 1年男子総合6位
2年女子総合6位
共通男子：100m 1位 佐野陸翔
110mH 1位 石川勝大
走幅跳 1位 佐野陸翔
800m 3位 石川勝大
4×100mR 8位 清水勇吹・伊神流星・水島 優・韓 潤燮
砲丸投げ 8位 荻野鉄生
2年男子：800m 2位 矢崎健太郎

3000m	1位	秋山圭史	7位	功刀楽琥
走幅跳	6位	水島 優		
砲丸投	1位	相原嶺真	8位	宮川 朔
1年男子：1500m	1位	前多 陽	4位	河合琉真
2年女子：100m	6位	村山あずみ		
800m	6位	森山芽依		
100mH	6位	佐藤 芽		
走幅跳	2位	阪本美紅	7位	佐野鈴音

期末テストまであと4日



6月も残りわずかとなり、あと1ヶ月もすれば夏休みを迎えます。学校では一学期のまとめを行っていく時期となり、

今週からは期末テストに向けた『学習強化週間』に入っています。授業はもちろん、帰りの会後の“いちょうタイム”にも熱心に取り組み、先週までの部活動強化から学習強化への切り替えはしっかりできているようです。

さて、1年1組の廊下の掲示板に、ある漫画の1コマが2枚、貼られているのに気づきました。小西先生に聞いたところ『宇宙兄弟』という漫画だそうで、それは南波六太と日々人という全く性格の異なる兄弟が謎のUFOを目撃したことをきっかけに一緒に宇宙飛行士になることを目指すというストーリーです。2012年には小栗旬さん主演で実写映画化もされました。前置きが長くなってしまいましたが、その2枚のうちの1枚には兄の六太の顔がクローズアップされ、吹き出しからは「俺の敵はだいたい俺です」という言葉が飛び出しています。

本当に1コマだけですので、その前後にどんなストーリーが展開されてその一言につながったのかはわかりませんが、「俺の敵はだいたい俺です」という言葉にとっても重みを感じました。これまでの私自身のあれこれを振り返ってみても「あ〜、確かに・・・」と共感できる、思い当たる節がたくさんあることに気づかされたからだと思います。

今、子どもたちは期末テストに向けて学習強化週間のまっただ中にあり、家に帰ればメディア・コントロールに取り組みながらそれぞれの計画に沿って学習を進めていることと思います。テレビやゲーム、スマホなどのメディアそのものが、今は“敵”であるとともに、その誘惑に負けてしまう心の中の自分こそが、六太の言葉を借りれば「俺の中にいる俺の敵」ということになるのでしょうか……。そんな“弱い自分”に立ち向かっていける“もう一人の自分”を、この学習強化週間の取り組みを通して、子どもたちには少しずつ育ててほしいと思います。

1年生にとっては中学生になって2回目となる定期テストですので、まだまだ勉強方法に戸惑いや時には行き詰まりを感じているかもしれません。しかし、悩み、試行錯誤しながらも学習としっかり向き合うということに意味があり、それも立派に“もう一人の自分”を育てようとしていることになりますし、必ずや今後につながっていきます。2・3年生は、1年生よりも経験があるだけに、さらに強い“もう一人の自分”をすでに持っている人、あるいはその育て方を心得ている人もいることでしょう。

各教科の基礎・基本と併せて学習習慣や自分自身の勉強法、そして楽な方へと流されそうになる自分に声をかけてくれる“もう一人の自分”など、期末テストに向けた『学習強化週間』は子どもたちに様々な力をつけてくれるはずです。

